

I 教育目標	
	<ul style="list-style-type: none"> ○自ら学び実行力のある人 ○礼儀正しく思いやりのある人 ○心身を鍛え忍耐力のある人

II 経営方針	
目指す学校像	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒の個性と人権を尊重する学校 ○生徒が主体的に、生き生きと活動する学校 ○社会の変化により生じた新たな教育課題に迅速に対応する学校 ○保護者・地域から信頼され、安心して生徒を通わすことのできる学校
目指す児童 (生徒) 像	<ul style="list-style-type: none"> ○心身共に健康な生徒 ○主体的に学習に取り組む意欲あふれる生徒 ○夢や目標に向かって、粘り強く努力する生徒 ○豊かな心を持ち、多様な価値観を認め合いながら社会に貢献する生徒
目指す教師像	<ul style="list-style-type: none"> ○人間性豊かで生徒に寄り添い、保護者・地域から信頼される教師 ○研鑽に励み、教員としての資質・能力の向上に努める教師 ○教育公務員として職務を遂行する教師
経営理念	<p>○パーパス（存在意義）～何のために学校はあるのか～ 学校教育の力でよりよい社会を創る</p> <p>○バリュー（行動指針）～日々の教育活動で何をするのか～ すべての教育活動において「対話」と「合意形成」を意識し、「社会参画力」を育成する</p> <p>学校生活そのものを「生きた教材」として捉え、あらゆる場面において一方的な指導ではなく、生徒同士や教職員との「対話」を中心に据えた指導を行う。そして、異なる意見や価値観を認め合い、対立や葛藤と向き合いながら、「合意形成」を図っていく経験を積み重ねることで、「社会参画力」を育成する。</p>

Ⅲ 経営目標

重点領域 1		確かな学力の育成
中期経営目標	授業改善に取り組み、教員の授業力・指導力向上と生徒の学力向上を目指す。	
短期経営目標	<ul style="list-style-type: none"> ○「質の高い家庭学習」を効率的かつ主体的に実践する習慣を身に付けさせる。 ○「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させることで、意欲的に授業に取り組む姿勢を確立する。 	
項目	努力指標（教師側）	成果指標（こども側）
1	Challenge Wednesday を充実させ、生徒が自ら考え、計画的に家庭学習に取り組む力を身に付けさせる。	「家庭学習では、自分で目標や計画を立てて、主体的に取り組むことができた」と回答する生徒を 80%以上にする。
2	「四砂中・話し合いルール」のもと、生徒自ら考え、他者と対話し、協働して、解決する授業を実践する。	「授業では、自分の言葉で考えを發表し、対話を通して周囲と協力しながら課題の解決に取り組めた」と回答する生徒を 90%以上にする。
3	1人1台端末とクラウドツールを積極的に活用し、個に応じた学びや支援を充実させることで、「分かりやすく楽しい授業」を実践する。	全教科で「授業は分かりやすく、意欲的に取り組めた」と回答する生徒を 90%以上にする。

重点領域 2		豊かな心の育成
中期経営目標	非認知能力を培い、社会での対応力を身に付けさせ、「自分らしく生きる力」を育む。	
短期経営目標	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒の心に寄り添った温かく丁寧な指導を通して、自己指導能力の育成を図る。 ○偏見をもたず差別をしない態度と、互いを認め合い尊重する心を育む。 	
項目	努力指標（教師側）	成果指標（こども側）
1	日常的な声掛け、励まし、称賛、対話による発達支持的生徒指導を実践し、生徒理解を深めながら問題行動の未然防止に努める。	「自分には、よいところがある」と回答する生徒を 90%以上にする。
2	行事や委員会活動、通常学級と特別支援学級との交流を通して、他者を思いやり協調する力を育成する。	「行事や生徒会活動では、学年や学級の枠を超えて積極的に交流し、協力することができた」と回答する生徒を 80%以上にする。
3	「特別の教科 道徳」の授業においても「考え、対話する授業」を展開し、多様な個性や価値観を認め合う態度を養う。	「道徳の授業では、対話を通して様々な意見を受け止め、自分の考えを深めることができた」と回答する生徒を 90%以上にする。
4	TGG体験や留学生との交流等を通して、異なる文化や価値観を尊重し、豊かな国際感覚を身に付けさせる。	「留学生との交流等を通して、異なる文化や考え方を尊重し、自分の考えを広げることができた」と回答する生徒を 80%以上にする。

重点領域 3		考える力の育成
中期経営目標	○生徒が主体的に参画する学校運営を実現する。 ○夢や目標に向かって主体的に自己実現を図る力を育む。	
短期経営目標	○特別活動を通して、当事者意識をもって意見を表明し、対話と合意ができる力を育む。 ○広い視野をもって自己の生き方を見つめ、情報を適切に活用しながら、自身で進路を選択し、切り拓こうとする力を養う。	
項目	努力指標（教師側）	成果指標（こども側）
1	全ての委員会活動において、学校生活の向上に向けて、生徒が主体的に企画・運営する「アクションプラン」を年間1回以上実行する。	「自分たちの行動で、学校をよりよく変えられた」と回答する生徒を70%以上にする。
2	生徒会本部を中心として「四砂中SNSルール」を改訂し、情報を適切に活用するために必要なモラルやリテラシーを身に付けさせる。	「四砂中SNSルールを守り、安全かつ適切にインターネットを活用することができた」と回答する生徒を80%以上とする。
3	キャリア教育を充実させ、地域や企業と連携した職業講話やワークショップ、体験活動等を活用しながら、社会的・職業的自立に必要な能力や態度を育成する。	「将来に対する夢や目標をもち、その実現に向かって努力している」と回答する生徒を70%以上にする。

重点領域 4		健やかな心身の育成
中期経営目標	○望ましい生活習慣を身に付け、主体的に自己管理する力を育む。 ○いじめを許さない学校風土を醸成する。	
短期経営目標	○気持ちの良い挨拶と場に応じた言葉遣いができる生徒を育てる。 ○保健指導や食に関する指導を充実させ、保護者を巻き込んだ実践により、望ましい生活習慣のもと、適切に自己をコントロールする力を身に付けさせる。 ○全校体制で、いじめや暴力行為をしない・許さない環境づくりに取り組み、問題行動の未然防止につなげる。	
項目	努力指標（教師側）	成果指標（こども側）
1	登校時の挨拶、授業開始・終了時の挨拶を全校で徹底し、自分から進んで挨拶する習慣を定着させる。	「自分から進んで、気持ちの良い挨拶をするように心がけている」と回答する生徒を90%以上にする。
2	発達支持的生徒指導のもと、日常的な声掛けと対話を通して、TPOを踏まえた言葉遣いや身だしなみについて丁寧に指導し、望ましい人間関係の基盤を養う。	「場に応じた言葉づかいや身だしなみを、きちんと実践できている」と回答する生徒を80%以上にする。
3	保護者や近隣小学校と連携した「メディアコントロール」の取組を実践し、生徒が小学校の児童へ報告をする活動を通して、主体的に生活習慣をコントロールしようとする姿勢を身に付けさせる。	「スマートフォンやインターネット等の利用時間を自己管理し、家庭学習や睡眠の時間をきちんと確保している」と回答する生徒の割合を70%以上にする。
4	給食の献立や関連する教科の指導を通して、食に対する意識を高めさせ、健全な食生活を実現しようとする態度を育てる。	「給食ではマナーを守り、残さず食べるように努力している」と回答する生徒の割合を70%以上にする。
5	生徒会を中心に生徒発信のいじめ防止に関する取組を年間2回以上実施する。	「お互いの個性を尊重し、いじめをなくすために行動している」と回答する生徒の割合を100%にする。